



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 名

上場会社名 太陽化学株式会社

コード番号 2902 URL <http://www.taivokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当兼業務支援担当兼企業統括部長 (氏名) 増川 尚利

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日

配当支払開始予定日

平成28年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	19,971	△2.0	1,576	3.8	1,202	△19.5	809	△19.8
28年3月期第2四半期	20,384	8.3	1,518	42.6	1,493	19.8	1,008	29.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 707百万円 (△20.5%) 28年3月期第2四半期 889百万円 (△27.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	44.12	—
28年3月期第2四半期	51.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	42,374	34,248	78.7
28年3月期	41,731	33,950	79.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 33,339百万円 28年3月期 32,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	22.00	32.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	1.3	3,000	9.2	2,700	11.6	1,600	△20.2	87.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	23,513,701 株	28年3月期	23,513,701 株
29年3月期2Q	5,168,165 株	28年3月期	5,168,165 株
29年3月期2Q	18,345,536 株	28年3月期2Q	19,406,178 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外は、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の海外景気の下振れに加え、米国の利上げ予測や英国のEU離脱問題による海外情勢への一層の警戒感が強まり、株価や為替相場の不安感が増すなど不透明な経営環境となりました。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、節約志向の継続により個人消費が伸び悩むなど企業を取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、円高等の影響により199億71百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。営業利益は、15億76百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。経常利益は、為替相場の変動による為替差損の計上により12億2百万円（前年同四半期比19.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億9百万円（前年同四半期比19.8%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内の医療用途は増加いたしました。欧米市場のサプリメント用途は減少いたしました。この結果、売上高は、前年を下回りました。

カテキン（緑茶抽出物）は、国内の飲料、サプリメント用途は増加いたしました。欧米市場のサプリメント用途は減少いたしました。この結果、売上高は、前年を下回りました。

ミネラル製剤は、国内市場の飲料用途は増加いたしました。米国市場のサプリメント用途は減少いたしました。この結果、売上高は、前年を下回りました。

テアニン（機能性アミノ酸）は、国内市場のサプリメント用途及びアジア・米国市場の飲料、サプリメント用途がともに増加いたしました。この結果、売上高は、前年を上回りました。

ビタミン製剤は、国内市場が減少いたしました結果、売上高は、前年を下回りました。

以上の結果、売上高は、33億95百万円（前年同四半期比9.7%減）、営業利益は、6億8百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤、安定剤等の食品素材、品質改良剤を製造、販売しております。

乳化剤は、化粧品、トイレタリー用途は増加いたしました。一般食品用途、飲料用途はともに減少いたしました。この結果、売上高は、前年を下回りました。

安定剤は、医療用途が増加いたしました結果、売上高は、前年を上回りました。

以上の結果、売上高は、66億83百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益は、8億37百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、液卵加工品、粉末卵ともに減少いたしました結果、売上高は、前年を下回りました。

即席食品用素材は、国内市場及びアジア市場がともに増加いたしました。この結果、売上高は、前年を上回りました。

フルーツ加工品は、冷菓用途が増加いたしました結果、売上高は、前年を上回りました。

以上の結果、売上高は、97億91百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益は、1億27百万円（前年同四半期比63.6%増）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、1億1百万円（前年同四半期比27.6%増）、営業利益は、2百万円（前年同四半期は、0百万円の営業損失を計上）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して6億42百万円増加して、423億74百万円となりました。主な資産の変動は、現金及び預金の増加7億56百万円、受取手形及び売掛金の増加11億71百万円、投資有価証券の増加2億89百万円、投資その他の資産のその他の増加2億64百万円、商品及び製品の減少4億33百万円、原材料及び貯蔵品の減少11億59百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比較して3億45百万円増加して81億25百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加2億65百万円、未払法人税等の増加2億23百万円、賞与引当金の増加1億30百万円、流動負債のその他の減少3億73百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して2億97百万円増加して342億48百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益8億9百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加2億43百万円、為替換算調整勘定の減少2億81百万円、配当金の支払による減少4億3百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の79.0%から78.7%となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,187,371	5,943,908
受取手形及び売掛金	9,761,368	10,933,317
商品及び製品	3,341,061	2,907,977
仕掛品	393,695	408,741
原材料及び貯蔵品	3,638,496	2,478,861
その他	569,306	602,670
貸倒引当金	△25,261	△21,446
流動資産合計	22,866,037	23,254,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,884,047	4,837,415
土地	6,038,454	6,036,140
その他(純額)	2,474,946	2,261,737
有形固定資産合計	13,397,448	13,135,292
無形固定資産		
のれん	45,118	36,991
その他	225,399	196,308
無形固定資産合計	270,518	233,299
投資その他の資産		
投資有価証券	3,739,249	4,028,837
その他	1,475,261	1,739,552
貸倒引当金	△17,450	△16,950
投資その他の資産合計	5,197,061	5,751,439
固定資産合計	18,865,028	19,120,031
資産合計	41,731,066	42,374,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,005,652	5,271,229
未払法人税等	122,603	346,009
賞与引当金	240,825	371,310
その他	1,450,901	1,077,616
流動負債合計	6,819,984	7,066,165
固定負債		
退職給付に係る負債	193,371	198,897
役員退職慰労引当金	362,874	386,838
その他	403,917	474,036
固定負債合計	960,163	1,059,772
負債合計	7,780,147	8,125,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,674	7,918,674
利益剰余金	20,688,701	21,088,033
自己株式	△4,612,549	△4,612,549
株主資本合計	31,725,447	32,124,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,106,805	1,350,792
繰延ヘッジ損益	△10,096	△13,485
為替換算調整勘定	203,602	△77,758
退職給付に係る調整累計額	△51,826	△44,893
その他の包括利益累計額合計	1,248,485	1,214,654
非支配株主持分	976,985	908,688
純資産合計	33,950,918	34,248,123
負債純資産合計	41,731,066	42,374,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	20,384,565	19,971,915
売上原価	15,960,869	15,533,517
売上総利益	4,423,696	4,438,397
販売費及び一般管理費	2,905,530	2,861,866
営業利益	1,518,166	1,576,531
営業外収益		
受取利息	21,856	19,292
受取配当金	24,040	27,370
その他	26,367	25,584
営業外収益合計	72,264	72,247
営業外費用		
支払利息	9,446	9,026
貸与資産減価償却費	3,511	3,168
為替差損	28,420	414,792
持分法による投資損失	20,801	13,998
租税公課	31,139	-
その他	3,864	5,503
営業外費用合計	97,183	446,488
経常利益	1,493,247	1,202,289
特別利益		
固定資産売却益	1,043	-
関係会社出資金譲渡益	86,613	-
特別利益合計	87,656	-
特別損失		
固定資産除売却損	9,777	14,007
特別損失合計	9,777	14,007
税金等調整前四半期純利益	1,571,126	1,188,281
法人税等	506,487	330,405
四半期純利益	1,064,639	857,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	56,076	48,559
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,008,562	809,316

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,064,639	857,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86,780	250,084
為替換算調整勘定	△111,964	△379,504
退職給付に係る調整額	1,801	6,933
持分法適用会社に対する持分相当額	21,897	△28,199
その他の包括利益合計	△175,046	△150,686
四半期包括利益	889,593	707,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	871,264	775,486
非支配株主に係る四半期包括利益	18,328	△68,296

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,760,046	6,827,590	9,717,406	20,305,043	79,522	20,384,565
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,760,046	6,827,590	9,717,406	20,305,043	79,522	20,384,565
セグメント利益 又は損失(△)	579,059	861,258	78,139	1,518,457	△290	1,518,166

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,395,242	6,683,536	9,791,673	19,870,452	101,463	19,971,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,395,242	6,683,536	9,791,673	19,870,452	101,463	19,971,915
セグメント利益	608,549	837,711	127,845	1,574,106	2,424	1,576,531

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。